



日本統計学会 会報 2021.04.30 No. 187

発行—— 一般社団法人 日本統計学会
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル5F
公益財団法人 統計情報研究開発センター内 日本統計学会事務局
Tel & Fax: 03-3234-7738
編集責任—山下 智志 (理事長) / 伊藤 伸介 (庶務理事)
小池 祐太 (広報理事) / 明石 郁哉 (広報委員)
鎌谷 研吾 (広報委員)
振替口座—00110-3-743886
銀行口座—みずほ銀行九段支店普通 1466879番

JAPAN STATISTICAL SOCIETY NEWS

目次

- | | |
|--|--|
| 1. 巻頭随筆：統計学と数学，その教育
.....塚原英敦… 1 | 6. 理事会・委員会報告(2021年2月6日開催).....10 |
| 2. 2021年度統計関連学会連合大会のお知らせ(第二報)
.....久保田貴文・西井龍映・坂本 亘… 3 | 7. 社員総会報告.....11 |
| 3. 第15回日本統計学会春季集会の報告
.....山下智志・稲葉由之・小山慎介… 4 | 8. 被選代議員会報告.....14 |
| 4. 2020年統計検定 CBT 方式試験の成績優秀者
.....川崎 茂・山下智志… 7 | 9. 博士論文・修士論文の紹介.....15 |
| 5. 統計検定合格者の声.....川崎 茂・山下智志… 8 | 10. 新刊紹介.....18 |
| | 11. JSS Research Series in Statistics からの新刊情報
.....18 |
| | 12. 学会事務局から.....18 |
| | 13. 投稿のお願い.....19 |

1. 統計学と数学，その教育

塚原 英敦 (成城大学経済学部)

放映開始以来，NHK の番組「チョコちゃんに叱られる！」をよく観ている。設定5歳の天真爛漫な着ぐるみのチョコちゃんが，他の出演者に素朴で無邪気な疑問を投げ掛け，正しく答えられないと「ボーっと生きてんじゃねーよ！」と叱られるバラエティ番組である。いつも目から鱗の質問と答が多々あって，楽しませてもらっているのであるが，昨年9月の回に「なんで数学を勉強するの？」という問いがあった。それに対するチョコちゃんの答は「論理的な思考が身につくから」。このとき，私は思わず「つまんねーヤツだな～」とつぶやいてしまった。5歳の子の頭が文科省的な建前論に蝕まれているということにがっかりしてしまったのである。「万物は数だから～」などと答えて，視聴者の目を点にして欲しかった。

番組の中での解説では，数学を学ぶ目的は「問題を整理して答を導くことで論理的な思考を身に

つける」であるのに対して，算数を学ぶ目的は「日常生活で使う計算力を養うこと」だという。うわべ上は確かにそうだろう。四則演算の操作ができなければ，普段の生活で困るだろうし，初等幾何の証明問題などでは論理的な思考が相当必要とされる。だが，数学を学ぶ上で肝心なのは，数や点の抽象性と直観性をバランスよく感じ取ることなのではなかろうか。これは高尚なレベルの話ではなく，本3冊もCD3枚も3は3として扱う，具体的な量を文字で表して式を立てる，関数を点とみなすといった意味での抽象化である。それを厳密な論理によって小難しく考えるのではなく，直観的に馴染んでいくのが高校までの数学の目標であり，そのような考え方に接するのは数学においてしかない。そんなことも知らずに，やれ数学はつまんないだとか，役に立たないなどと言っている日本人のなんと多いことか。

統計学は数学を使う。統計学者、あるいはデータサイエンティストになるために数学が必須なのは自明だが、多くの学生を対象とする大学教養・専門基礎科目としての統計学の講義で、数学はどこまで必要だろうか。もちろん、専攻分野により様々な意見があると思うが、現状では私立文系大学生に対して、初等微積分程度の数学さえ前提条件として課すことは難しい。Freedman, Pisani and Purves 著の Statistics は、私が米国留学時代に TA をしていたときの学部 1・2 年生向けの教科書であり、実によく書いている。四則演算と平方根以外の数学の知識は用いずに、記述／推測統計の初等的な部分を解説しており、私は 2～4 年生向けの講義において、この本を参考にして作った資料を用いて授業を進めている。これで少なくとも統計学の基本的な考え方だけは理解してもらえするという自負はあるのだが、統計学の数理的な側面に魅力を感じてこの道に進んだ者としては何とも物足りない気がする。

大学生の学力といえば、約 20 年前に出版された『分数ができない大学生』（岡部他編）という本を覚えている方も多だろう。2002 年度から施行された学習指導要領を機に、数学教育に関して問題提起をしたもので、当時大いに話題になった。その後、脱ゆとり教育の流れになり、状況は改善されたのかというと、そのような実感はない。元凶とされた入試制度としては、ノウハウのない教員がてんやわんやで行う AO 入試、英語と国語しか課さない馬鹿げた少数科目入試などが多くの大学で実施されている。今年度から導入された大学入学共通テストは、選抜ではなく基礎学力確認を目的とするものへと変わった点は評価できるのだが、それが全ての大学で必須とされたわけではない。ここで今こそ全ての日本国民に問いたい。大学入学のためには数学が何らかの形で必須であるという国際的な常識が、なぜ日本では通用しないのか。

小・中学校ではすでに実施されている新学習指導要領を見ると、「データの活用」という領域では、平均値、中央値、最頻値は小 6、ヒストグラムや累積度数は中 1、四分位範囲や箱ひげ図は中

2 で学ぶことになる。このような記述統計の題材を早い段階で教えるのは適切だと思う。だが、2022 年度から本格的に実施される新高校学習指導要領はどうだろうか。数学 I 「データの分析」で分散や標準偏差、散布図、相関係数を記述統計として学ぶのはよい。しかし、仮説検定の考え方もそこに含まれ、さらに数学 B では、正規分布を用いた区間推定・検定の方法や有意水準という用語も扱われる。時間をかければ、これを高校生が理解することは不可能ではないだろう。しかし問題は、それによってはじき出されてしまう分野にある。数学 B には、「統計的な推測」の他に「数列」と「数学と社会生活」という項目しかない。ベクトルは数学 C に移され、整数論と行列は、それぞれ数学 A の「数学と人間の活動」、数学 C の「数学的な表現の工夫」という怪しげな項目の一部となる。

現代においてデータサイエンスは非常に重要であり、それに注目が集まっているのは事実である。その時流に沿った改訂ということなのだろうが、教える順序、題材の選択としては納得いかないものがある。統計学は数学の一分野ではないということが違和感の元なのであろう。統計的推測を学習対象とすれば、純粋数学にはない、確率とは何かという難解な問いを究極的には意識せざるを得ない。また、今流行りの機械学習手法には、記述統計的な側面が強いものが多くあり、そこで必要とされるのは線形代数の知識である。数学 C は文系コースでは学ばないだろうから、線形代数の基本であるベクトルは、文系志望の学生は一切学ばなくなる。それよりは、統計的推測は大学からとしてもいいのではと思ってしまう。

以上述べたことはご存知の方も多いであろうし、古臭い考えの奴だと思われるかもしれない。統計学という独特な立ち位置の学問ゆえに、その扱いが難しいのは重々承知している。私個人としては、チコちゃん、そして学生に「なんで統計学を勉強するの？」と聞かれたら、十分説得力のある答ができるように、まだまだ精進していかなければならないと気を引き締めている。

2. 2021年度統計関連学会連合大会のお知らせ（第二報）

運営委員長 久保田貴文（多摩大学）
実行委員長 西井 龍映（長崎大学）
プログラム委員長 坂本 亘（岡山大学）

2021年度統計関連学会連合大会（長崎大学文教キャンパスで開催予定）について進捗をご報告申し上げます。第一報では、開催方式を検討中とアナウンスさせていただきましたが、「ハイブリッド方式による開催」と決定いたしました。ハイブリッド方式による参加の方法および、会場については以下の通りです。

A) 現地参加：長崎大学文教キャンパスにて参加

1. 対面セッション：現地で参加・講演
2. オンラインセッション：パブリックビューイング方式の現地会場にて視聴 ※

B) 遠隔参加：ご自宅・職場・ホテル 等からオンラインで参加

1. 対面セッション：現地会場での対面講演の配信内容をオンラインで視聴 ※
2. オンラインセッション：オンラインで参加・講演
(※質疑応答の方法については現在検討中です。)

ただし、初日9月5日（日）のチュートリアルセッションと市民講演会については全面オンライン開催とさせていただきます。2日目以降（9月6日（月）～9日（木））はプレナリーセッションに始まり、一般講演や企画セッションなどを開催いたします。開催に当たっては厳重なコロナウイルス感染対策を実施します。この点をご承知おきください。

この第二報では併せて、企画セッションの公募をご案内いたします。今後、連合大会のホームページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2021/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますのでご覧ください。トップページは3月下旬に公開予定です。

1. 企画セッションの公募

統計関連学会連合大会プログラム委員会は、市民講演会、チュートリアルセッション、企画セッション、コンペティションセッション、ソフトウェアセッション等を担当しています。統計関連学会会員の皆様でご意見やご提案をお持ちの方は是非お知らせください。

企画セッションに関しては、今回もこれまで通り公募します。広い意味で統計学の発展への寄与、統計学の社会的使命に関わる企画等のご提案を歓迎します。なお、応募が多数の場合にはプログラム委員会で調整させていただくこともありますので、ご了承ください。

企画セッションの申込に際しては、

- 1) セッションのテーマとねらい
- 2) オーガナイザーの氏名・所属・連絡先
- 3) 座長の氏名・所属
- 4) 希望講演方式（セッション単位で、現地での講演かオンライン講演か）
- 5) 予定講演者の氏名・所属・演題名・使用予定言語（日本語または英語）

を上記連合大会ホームページの「申し込み」からリンクされているフォームにてお申し込みください（メールによる申し込みは受け付けておりませんのでご注意ください）。

企画セッション1件あたりの時間枠は120分を予定しています。講演件数・講演方法などは、この時間の範囲で自由に設定いただけます。

企画セッション応募締切

2021年4月5日（月）17:00 [厳守]

企画セッション担当者

kikaku2021(at)jfssa.jp (at)を@に置き換えてください。

担当者 杉本知之（滋賀大学）

2. その他の準備状況のご報告

2.1 コンペティションセッションについて

「コンペティション講演」に関わる事項は次の通りです。コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画です。参加資格は2021年4月1日時点で満30歳未満の若手研究者（博士後期課程院生を含む）、または、講演時に学部学生や修士課程（または博士前期課程）院生（年齢を問いません）です。連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方です。なお、コンペティション対象者は、講演申込時に主催6学会のいずれかの会員でなければなりません。ただし、入会申請中の方も認めます。プログラム委員会から各学会事務局に会員照会し、会員（入会申請中）でないことが判明した場合は、コンペティションへのエントリーを取り消しますので、十分にご注意ください。コンペティション応募総数は年々増加傾向にあり、プログラムを組むのが難しくなっています。したがって、今年度

は申込順でコンペティション参加件数を制限することがあります。審査は、講演報告集の内容と当日の口頭発表に対して、各学会から選出された審査員による総合的な評価で行います。

なお、今回のコンペティションセッションは、昨年と同様にオンラインで行います。

2.2 チュートリアルセッション、市民講演会、ソフトウェアセッションについて

9月5日にチュートリアルセッションおよび市民講演会をオンラインで開催予定です。多くの市民や研究者の方々にとって興味を持っていただける内容を企画中です。皆様の積極的な参加をお待ちしています。また、ソフトウェアセッションについても計画しています。詳細は、2021年5月上旬頃発行予定の第三報でお知らせいたします。

2.3 一般講演申込、報告集原稿提出、事前参加申込

一般講演や事前参加の申込、報告集原稿提出はホームページ上で行います。一般講演申込の締切を6月上旬（予定）とし、それ以降、報告集原稿提出および事前参加申込の締切を設定します。確定した期日や具体的な企画は、第三報でお知らせいたします。

3. 第15回日本統計学会春季集会の報告

山下 智志（日本統計学会理事長）
稲葉 由之（企画・行事委員長）
小山 慎介（実行委員長）

第15回日本統計学会春季集会が2021年3月13日（土）に統計数理研究所との共同開催によりオンライン開催されました。第14回春季集会が新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催中止となり、第15回春季集会は春季集会として2年ぶりの開催となりました。今回の集会では、5つの企画セッションとポスターセッションによるプログ

ラムが編成され、活発な議論が交わされました。

午前は、開会式における川崎茂会長と、共同開催の統計数理研究所椿広計所長の挨拶の後、2セッションが並行して実施されました。2つのセッションは、国際セッションである「Bayesian Statistics in Practice（オーガナイザー：菅澤翔之助氏、東京大学）」と、「統計検定におけるデータ

サイエンス試験の狙いと概要（オーガナイザー：竹村彰通氏，滋賀大学；座長：瀬尾隆氏，東京理科大学）」です。

午後はプレナリーセッションとして「新型コロナウイルス感染症と統計数理（オーガナイザー：松井知子氏（統計数理研究所）」が開催されました。統計数理研究所の新型コロナウイルス対応プロジェクトの紹介の後，西浦博氏（京都大学大学院）による講演「新型コロナウイルス感染症の数理的分析でわかったこと」とパネルディスカッションが実施されました。パネリストによる討論や質疑応答による有意義な議論が行われました。

続いて，以下の2セッションが並行して実施されました。「工学・理学・医学に関連するスパーズ推定の展開（オーガナイザー：二宮嘉行氏，統計数理研究所）」，「ミクロデータの利用技術とその応用（オーガナイザー：川崎茂氏，日本大学；山下智志，統計数理研究所）」。

ポスターセッションは，3月8日（月）から13日（土）までの6日間の期間において，Web上でポスターや録画による説明を閲覧し，参加者からのコメントや発表者からの回答をWeb上に投稿するという形式で開催されました。ポスターセッションには32件の発表があり，コメントと回答による議論が行われました。企画セッションの終了後に実施されたポスターセッション表彰式において，優秀発表賞は大石峰暉氏（広島大学大学院），羽村靖之氏（東京大学大学院），山崎遼也氏（京都大学大学院）の3名に，学生優秀発表賞は高澤祐槻氏（東京大学大学院），田口千恵氏（東京工業大学大学院），若山智哉氏（東京大学大学院）の3名に授与され，川崎茂会長より表彰されました。また，赤平昌文氏（一般財団法人統計質保証推進協会統計検定センター長）より，優秀発表賞と学生優秀発表賞の受賞者に対して統計検定センター長賞を贈呈していただきました。

春季集会はオーガナイザーの先生方にセッションを企画して頂いています。並行して開催するセッションの数が少なく，じっくりと研究発表を聞くことができるのが，春季集会の特徴です。また

若い世代の研究者に積極的にポスター発表をしていただきました。今回はオンライン開催となりましたが，通常開催の春季集会比べてポスターの発表数が大きく減少したということはありません。今回の春季集会比多くの発表者と参加者に恵まれ，盛会のうちに終了することができました。最後に，本集會を成功裏に導いてくださった方々に感謝申し上げます。

春季集會 URL：

<https://confit.atlas.jp/tjss2021spring>

ポスターセッション優秀発表賞

受賞のことは

大石 峰暉（広島大学大学院）

この度は，“優秀発表賞”という名誉ある賞を受賞することができ大変光栄に思っております。審査員の皆さまや，本大会を企画・運営して下さった関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。また，今回このような素晴らしい結果となりましたのも，これまで熱心にご指導して下さった指導教官である柳原先生のお陰です。この場をお借りして感謝申し上げます。さて，本発表では，ロジスティック回帰モデルに対する generalized fused Lasso の最適化問題を解くための座標降下法の更新式が陽な形で得られることを報告致しました。一般化線形モデルのパラメータは通常，目的関数の線形近似式を用いて推定されることが多い中で，目的関数を線形近似することなく直接解くことができるというのは非常に面白い結果であると思っております。今回の受賞を励みに，今後の統計分野の発展に少しでも貢献できるよう日々精進致します。

受賞のことは

羽村 靖之（東京大学大学院）

この度は優秀発表賞という大変榮譽ある賞を頂き，誠にありがとうございました。審査や運営に携わられた方に厚くお礼を申し上げます。今回はオンラインでの開催でしたが，無事に上手く発表

できるように準備して頂きました。また、コメント機能のおかげで今年も貴重なコメントを頂くことができました。本研究は指数分布の予測に関する非常に小さな発見から始まりましたが、久保川達也先生のご指導のおかげで、研究成果をまとめることができました。また、他の先生方や研究室のメンバーをはじめ、研究を支えて下さった多くの方にも感謝しております。今回のポスター発表は学生生活の中での最後の発表でしたが、今回の受賞を励みとして、これからも研究に精進して参りたいと思います。

受賞のことは

山崎 遼也（京都大学大学院）

この度は、ポスターセッション優秀発表賞にご選出頂き、大変光栄に存じております。

今回の春季集会は COVID-19 流行の影響で学会初めてのオンライン開催ということになり、集会の企画・運営には例年と違うご苦労があったことと存じます。関係された先生方には、改めて感謝を申し上げます。また、在籍している大学院において、日頃からご指導いただいている田中利幸・小淵智之両先生と研究会において的確なご助言を下さる研究室のメンバーには、心から感謝しております。本報告では、順序回帰において、「条件付き分布の単峰性」という順序関係の特徴付けを検討し、条件付き分布の単峰性を分類モデルの学習に活用することを目指しマルチタスク表現学習の考えに基づく手法を提案し、単峰な条件付き分布を持つ人工データと実在の順序データに対して実験的に確認した提案手法の有効性を報告しました。今後もこの研究をより発展させられるよう、精進して参りたいと思います。

ポスターセッション学生優秀発表賞

受賞のことは

高澤 祐槻（東京大学大学院）

この度は、学生優秀発表賞をいただき、大変光栄に思います。新型コロナウイルスが蔓延するな

かでも、このような素晴らしい大会の開催を可能にいただいた関係者の皆様に感謝いたします。貴重な発表の機会をいただき、また様々な興味深い発表を拝見させていただき、多くのことを勉強させていただきました。

私が今回発表した内容は、対数凹という形状制約のみを与えたノンパラメトリックな確率密度の最尤推定手法を、系統樹のなす空間上で行う試みです。研究をすすめる中で、指導教員の清智也先生には常々丁寧で的確なアドバイスをいただき、それがなければこのように結果をまとめて発表することはできませんでした。この場を借りて心より感謝申し上げます。これからも研究をより発展させていけるよう、精進していく所存です。

受賞のことは

田口 千恵（東京工業大学大学院）

この度は、第15回日本統計学会春季大会学生優秀発表賞という栄誉ある賞に選出していただき誠にありがとうございます。審査をしていただいた先生方、またコロナ禍という特殊な状況にも関わらず、このような発表の機会を与えてくださった運営の皆様改めて感謝申し上げます。そして日頃より熱心にご指導くださった宮川先生、黒木先生にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。本発表は、因果推論の枠組みにおける複数の推定基準を適用できる場合を想定し、漸近分散の比較により与えた選択基準について報告させていただきました。私自身あまり学会発表経験がなくポスター発表に際しまして指導教官の先生方からのフィードバックをいただきましたが、今回の発表を通じて皆様方に自身の研究の面白さを理解していただいたことを大変嬉しく感じております。今回の受賞を励みに、自身の研究にこれからもより一層邁進して行きたいと思います。

受賞のことは

若山 智哉（東京大学大学院）

この度は学生優秀発表賞という栄誉ある賞を頂き、大変光栄に存じております。オンラインでも

発表しやすい場を整えて下さった関係者の皆様、審査に携わられた先生方に、厚くお礼を申し上げます。本発表は、私の指導教官である菅澤先生の御指導の下、修士課程1年の夏から続けてきたものです。関数時系列データに対するトレンドフィルタリングを提案したことを報告いたしました。

お忙しい中でもミーティングをしていただいた菅澤先生と、普段から研究に関するアドバイスを

していただいた研究室のメンバーのおかげで受賞できたのだと考えております。大変感謝しております。本発表についても、有益なコメントを頂けたため改善点を見つけることができました。今回の受賞を励みとして、これからも日々研究に精進して参りたいと思います。

4. 2020年統計検定 CBT 方式試験の成績優秀者

川崎 茂 (日本統計学会会長)
山下 智志 (日本統計学会理事長)

2020年に CBT 方式による統計検定が5試験種別で行われました。CBT (Computer Based Testing) 方式とは、CBT 会場で、コンピュータを使って、統計検定を受験するシステムです。以下に、各試験種別の合格者のうち、成績優秀者でかつ公開に同意された方々の氏名を掲載します。掲載は姓のアルファベット順です。また以下の情報は統計検定のホームページでも公開しております。

2級

最優秀成績賞 (S) : 岩崎大輔, 森田和孝, 野口晴臣, 柴田雅史, 菅沼秀蔵, 上田航平, 山岸裕樹, 横山涼

優秀成績賞 (A) : 赤井和輝, 荒川亮太, 朝倉剛一, 別府汐, 畑澤匡広, 樋口広信, 石川元暉, 垣岡英幸, 加古敦也, 川原田明德, 木村隼, 北山拓夢, 小泉可弥, 小島淳広, 児島一輝, 隈本滉一郎, 栗田隆介, 前田隼哉, 政木研太, 三坂麟太郎, 三柴智大, 森田雅大, 中谷翔人, NGUYEN THI THU HA, 野村秀成, 野崎泰一郎, 大江央哲, 小栗怜, 尾上拓海, 小野坂健, 尾崎祐介, 斉藤翔平, 坂井準一, 清明孝充, 柴亮太, 副島涼, 須田颯人, 杉田健創, 鈴木瑛二, 高木鉄心, 高熊宏旭, 玉野史結, 東田直樹, 渡辺克海, 渡辺亮, 柳下和哉, 山本圭佑, 柳沢萌子, 横溝孝明, YU RUANJIAO

3級

最優秀成績賞 (S) : 安部美久, 安藤善雄, 後藤麻梨乃, 林謙太郎, 干山一穂, 洪勻萃, 稲垣達也, 石橋裕, 石川貴也, 岩田崇史, 勝島一, 河井啓介, 川上弘晃, 北村竜真, 北岡有以, 小嶋海葵, 小坂拓己, 栗原智人, 前原豪, 松澤拓馬, 水野翔太, 森岡友樹, 村井孝至, 中翔太, 中村陽生, 中村拓実, 中尾豊男, 中谷日茉莉, 鳴海太郎, 尾畑正成, 荻野陽平, 小原英明, 大谷和輝, 大坂真斗, 猿山未華, 柴田智恵子, 志村優太, 庄子雅俊, 竹田将大, 竹島寛之, 田中英美理, 上田浩太郎, 上野允照, 山本寛朗, 山本溪史郎, 山崎由佳, 米本優, 吉澤雄大

優秀成績賞 (A) : 赤星雅也, 天野颯斗, 土井健嗣, 越前淳己, 遠藤佐和乃, 榎本淳, 藤田顕光, 福竹裕昭, 福山翔太, 古川雄一, 橋本天征, 林高穂, 逸見義則, 樋口稜太, 平柳洸介, 本間花, 本間佑涼, 本田力, 洞澤亮太, 一木宏隆, 筏井大祐, 石島聡子, 伊藤美星, 岩松隼矢, 賀数九十, 上地裕詞, 上東茉弥, 上小澤健介, 神上俊輔, 神田佳輔, 金子ゆり, 川口敦子, 河野大智, 岸本千佳, 北田翔也, 小濱孝仁, 小久保伊織, 小松良徳, 河本蓮, 斑目翔吾, 前橋秀俊, 前野颯希, 松井勇介, 松本綾佳, 松村レオナルド大地, 三井真良, 宮下彰典, 永井洸至, 中村さおり, 中西風人, 仲野哲平, 中谷知音, 浪崎俊充, 二階堂耕市, 西馬義明,

新田篤史，織田翔子，大堀杏，太田純，岡橋佑樹，大嶽嘉広，太田颯生，小山真生，坂本凌平，櫻木悠貴，櫻井良輔，佐々木星也，佐藤大介，佐藤剛毅，佐藤真衣，佐藤帶子，関戸節，重安真子，島泰寛，白井剛，副島涼，園田茂孝，須藤修生，末長拓朗，菅原達郎，杉本晃，鈴木崇史，鈴木智大，田原孝浩，高田友樹，高橋完直，高橋奈央，武田伊正，竹内直輝，手間本亜希，寺田悠希，手塚剛，富木良，戸村竜太郎，土屋孝司，内山塔子，和田恵，渡邊大智，渡邊大輝，徐雅欣，山口晋平，山元智弘，安田啓佑，依田真由子，横澤和哉，横田佳代子，吉村穂乃香，湯浅大地，幸重成晃

4級

最優秀成績賞（S）：深浦翔太，広瀬真美子，金田堅太郎，櫛田美怜，尾畑正成，齋藤匡志，瀬賀雅之，高梨広野，竹田将大，内山愛文，宇井星日，山下満

優秀成績賞（A）：阿部紗妃奈，榎田篤，上北田博，北村竜真，幸田匠史，近藤遥，小柳文乃，劉健，松井晴香，松浦巧，宮澤秀兵，中橋高帆，中村光良，西浦英辰，野中大，大津慎吾，大槻香緒里，齋賀将宏，三瓶康弘，関口忠晴，清水川弘志，田中瑠奈，田中聖子，田野愛理，内山塔子

統計調査士

最優秀成績賞（S）：岩間郁，神尾公久，北川道

憲，北川誉紀，間々部博章，松崎拓也，宮川元希，中村颯汰，荻野陽平，酒本秋平，佐野裕，新屋和彦，高梨亮一，高田優佑，田中宗明，角田進，渡辺幸樹

優秀成績賞（A）：足立翔，赤岡佑治，青山裕一，新井智徳，荒川晋也，千葉健太，藤井正敏，藤川貴司，藤巻龍太郎，福井菜央，後藤孟，花野公彦，橋本和泉，服部雄太，平井宏英，堀米智，井手健太，今林宏一郎，石井善秀，磯村隆広，片岡秀樹，加藤穂高，加藤隆志，川端友貴，川口裕樹，菊島英子，木村守，小林朝陽，児玉和矢，松倉誠也，松末吉平，三川敬久，三村敦彦，宮尾弦汰，水川恵理香，森裕嗣，森峻人，苗村陽靖，長田菜々子，内藤利通，西口裕祐，大山靖江，岡平孝司，岡崎はるか，桶屋修平，奥野聡太，尾添光太郎，酒井利之，坂田晃一，佐々木崇公，佐藤嘉洋，須田颯人，鷺見行彦，互井亮太，田原慎也，高篠拓也，武田明久，立石一真，時尾響，西田篤哉，堤鴻志郎，内田尚良，内山治，和田真樹，分部唯字，渡邊真章，渡辺幹夫，渡邊健也，八尋和也，山田慶太，山宮侑子，山根隆史，横木友哉，吉村隆男，吉崎雅浩

専門統計調査士

最優秀成績賞（S）：森裕嗣，側島直樹，鷺見行彦，角田進，渡辺幸樹

優秀成績賞（A）：平田賀一，泉修平，児玉和矢

5. 統計検定合格者の声

川崎 茂 （日本統計学会会長）
山下 智志（日本統計学会理事長）

2019年12月と2020年3月受験の合格者の声を紹介します。

2級 最年少合格

高橋 海晴さん

（さいたま市立岸町小学校6年）

「正しく統計データを扱えるようになるために」

今回，統計検定2級を最年少で合格できたことを非常に嬉しく思っています。小学3年生の頃，父が統計検定2級の勉強しているのを見て，僕は統計検定に興味を持ちました。11月の検定では4級と3級に合格することができ，最年少合格賞をいただけて嬉しかったです。その後も統計学の勉強を続け，何度かPBT方式に挑戦してきました。

特に、大上丈彦さんの『マンガでわかる統計学』は大変為になりました。家でも塾に通う電車の中でも何度も読み返しました。

今年2月に一度、CBT方式に挑戦したのですが、苦手な推定と検定が全然分からず合格まであと6点でした。そこで、昨年度の最年少合格者の合格体験記を読んで『44の例題で学ぶ統計的検定と推定の解き方』を知り、この本を使って弱点を補おうと思いました。しかし、短期間で参考書の内容を全て理解するのは難しく、父に覚えておいた方がいい部分に付箋を貼ってもらい、試験の直前までその部分だけを何度も勉強しました。その結果無事合格できました。PBT方式は周りが大人の人ばかりでとても緊張したのですが、CBT方式はリラックスして受けることができたと思います。

話は変わりますが、コロナ休校中に見た情報番組の中で、内閣支持率の円グラフがおかしな状態で放送されていました。そのグラフでは、『支持しない』が47%だったにも関わらず、過半数以上の人が支持しないと答えたように読み取れるように描かれていました。父が口癖のように言っている『世の中には3つの嘘がある。嘘、大嘘、そして統計だ。』という言葉の意味が分かった気がします。調査結果を可視化する場合、特定の意図が入るのはいけないことです。僕は、意図的に改ざんしたデータに騙されず、正しく統計データを扱える人間になりたいです。

最後になりますが、準1級、1級の合格を目指して、引き続き統計学、数学の勉強に励みたいです。

統計調査士 最年少合格

國武 悠人さん

(千葉県立柏の葉高等学校 情報理数科)

「公的統計データの利活用方法に関する正確な理解が身につきました」

統計検定自体の存在は、SNS上で受験感想記を見て知っていました。しかし、私があえて統計調査士試験を受験しようと思ったきっかけは、その実施趣旨にあります。数学的な統計知識だけでなく公的統計に関する知識を評価するという資格は、もともと政治や経済といった社会に関心があった私にとって「統計から社会を知る」絶好の機会であり、取得しようと思うのは必然でした。

受験に当たっては、「統計検定 統計調査士試験対策コンテンツ」と「日本統計学会公式認定 統計検定 統計調査士・専門統計調査士 公式問題集」を購入し、通学時間を中心に日々学習を行いました。

統計調査士試験合格によって、統計の役割、統計法規、公的統計が作成される仕組み等に加えて、主要な公的統計データの利活用方法に関する正確な理解を身につけることができたと考えています。それによって社会を俯瞰的に見るできるようになり、統計情報に基づいた判断ができるようになりました。また、情報を鵜呑みにせず1次情報を確認する癖がついたことで、情報リテラシが向上したとも感じています。

大学進学後はより高度な知識をつけるために、専門統計調査士を目指して学習をしたいと考えています。また、Pythonを使ったプログラミングもしているので、統計検定データサイエンス基礎にも挑戦したいと考えています。

受験制度に関しては、学習期間に自由度のある、CBT方式試験を拡充していただけるとありがたいです。

6. 理事会・委員会報告（2021年2月6日開催）

一般社団法人 日本統計学会 理事会

日時：2021年2月6日（土曜日）午後1時00分～午後2時06分

場所：統計数理研究所 D508

ハイブリッド出席型バーチャル理事会として実施
Zoom（ミーティングID：993 6747 9164）

理事の総数	13名	出席理事の数	12名
監事の総数	3名	出席監事の数	3名

出席者

理事：川崎茂会長，山下智志理事長，加藤昇吾（庶務），伊藤伸介（庶務），吉田靖（会計），青嶋誠（IJSD），吉羽要直（会誌編集和文），小池祐太（広報），稲葉由之（大会・企画・行事），松田安昌（国際），菅澤翔之助（国際），前田忠彦（渉外），

（以上12名，カッコ内は役割分担）

監事：赤平昌文，岩崎学，中西寛子

欠席：瀬尾隆（渉外）

第1議案 常設委員会における委員の交代について

山下理事長より，常設委員会における大会委員として，今泉允聡会員（東京大学）と渡辺隼史会員（金沢大学）を追加選出したことが報告され，審議の結果，承認された。

第2議案 2021年度事業計画について

山下理事長より，資料に基づき，2021年度事業計画が提案され，審議の結果，承認された。

第3議案 2021年度予算について

山下理事長より2021年度予算が提案され，吉田会計理事により補足説明が行われた。2020年度予算からの主な変更点として，中村隆英賞費の新設及び予備費の増額が提案された。中村隆英賞費は予算の232万円の中に事務業務委託費5万円を含み，これにより，統計情報研究開発センターへの支払いが2021年度から年5万円増加することとなる。また，予備費は2020年度の300万円から500万円への増額が提案された。審議の結果，2021年度予算について承認が得られた。

第4議案 統計検定および統計質保証推進協会について

山下理事長より，統計検定の企画・実施及び一般財団法人統計質保証推進協会の事業委員会に対する日本統計学会の今後の支援の方向性について報告が行われた。また，統計質保証推進協会への支援を行うために，日本統計学会に質保証担当事務を設けることが提案され，承認された。

第5議案 日本統計学会の教育関係事業について

山下理事長より，教育特別委員会を理事会下の通常の委員会（教育委員会）に変更するために，今回の社員総会で規定変更することが提案され，審議の結果，承認された。

第6議案 ロゴに関する内規の変更について

伊藤理事より，資料に基づき，日本統計学会のロゴに関する内規の変更について説明がなされ，審議の結果，承認された。現状では，日本統計学会のロゴは，本会および本会会員のみが使用できることとなっているが，これに加え，業務委託を受けた事業者が会員の管理の下，当該業務を実施する目的のためにロゴを使用することができるよう内規が変更されることになった。

第7議案 2021年度理事会日程，社員総会日程について

山下理事長より，2021年度理事会日程，社員総会日程について提案がなされ，審議の結果，承認された。

第8議案 会員の入退会

山下理事長より，回収資料に基づき，入退会希望者が紹介され，審議の結果，承認された。

一般社団法人 日本統計学会 委員会

日時：2021年2月6日（土曜日）午後2時07分～午後4時22分

場所：統計数理研究所 D508

ハイブリッド出席型バーチャル委員会として実施
Zoom（ミーティングID：993 6747 9164）

出席：理事12名，監事3名，計15名

川崎茂会長，山下智志理事長，加藤昇吾，伊藤伸介，吉田靖，青嶋誠，吉羽要直，小池祐太，稲葉由之，松田安昌，菅澤翔之助，前田忠彦，赤平昌文（監事），岩崎学（監事），中西寛子（監事）

欠席：瀬尾隆

<報告事項>

1. JJSD 支援委員会

青嶋委員長より、JJSD の編集状況と今年度の投稿状況について説明がなされた。

2. 和文誌編集委員会

吉羽委員長より、資料に基づき、和文誌の編集状況について報告がなされた。また、和文誌がダイヤモンド OA 化されることが報告された。

3. 大会委員会

稲葉委員長より、統計関連学会連合大会の準備状況について説明がなされた。

4. 企画・行事委員会

稲葉委員長より、資料に基づき、第15回日本統計学会春季集会の準備状況について報告がなされた。プログラム案や運営方法について説明がなされた。

5. 庶務委員会

伊藤委員長より、日本学術振興会「データ共有のための手引き」草案に関する意見照会について報告がなされた。また、日本統計学会が以下の学術的会合を後援することが報告された。

・ The XV World Conference of Spatial Econometrics Association (SEA 2021)

・ 第3回 WiDS Tokyo@Yokohama City University

6. 広報委員会

小池委員長より、会報186号が出版されたことが報告された。

7. 国際関係委員会

松田委員長より報告があり、韓国統計学会により開催される韓国統計学会50周年記念イベントへの日本統計学会会長の招待について説明がなされた。また、台

湾統計学会、韓国統計学会、日本統計学会共同開催の国際セッションについて、企画を進めることが報告された。

8. 渉外委員会

前田委員長より、科研費の繰越を申請中であること及び来年度の科研費の用途等について説明がなされた。

9. その他

中西監事より、統計検定の文字商標への出願が承認されたことが報告された。

<審議事項>

1. JJSD 支援委員会

審議事項なし

2. 和文誌編集委員会

審議事項なし

3. 大会委員会

審議事項なし

4. 企画・行事委員会

審議事項なし

5. 庶務委員会

審議事項なし

6. 広報委員会

審議事項なし

7. 国際関係委員会

審議事項なし

8. 渉外委員会

審議事項なし

9. その他

審議事項なし

7. 社員総会報告

一般社団法人 日本統計学会 社員総会

日時：2021年3月12日（金曜日）午後6時00分～午後7時02分

場所：統計数理研究所 D508

ハイブリッド出席型バーチャル社員総会として実施
Zoom（ミーティング ID：961 2984 2049）

出席者：川崎茂会長、山下智志理事長

出席代議員：會田雅人、青嶋誠、足立浩平、伊藤聡、岩崎学、内田雅之、大森裕浩、川崎茂、川崎能典、栗

木哲、栗原考次、清水誠、瀬尾隆、高部勲、竹内光悦、竹村彰通、田畑耕治、椿広計、富澤貞男、中野純司、西山慶彦、樋口知之、福井武弘、前園宜彦、増田弘毅、宿久洋、山下智志、美添泰人、渡辺美智子

（以上29名、委任状提出1名）

定数の確認

川崎茂会長より、以下のように社員総会の決議の要件が満たされている旨説明があった。

(1) 社員の総数33名

(2) 総社員の議決権の数33個

(3) 出席社員の数（委任状による者を含む）30名（出

一般社団法人 日本統計学会

2021年度事業計画

(2021.4.1～2022.3.31)

- I. 出版編集事業
 1. 和文誌の発行

和文誌2号[第51巻シリーズ]第1号(9月)、第2号(3月)]を発行する。
 2. Japanese Journal of Statistics and Data Scienceの編集への参加・協力
 3. 会報の発行

No.187 (4月)、No.188 (7月)、No.189 (10月)、No.190 (1月)を発行する。
 4. 統計学に関わる書籍を刊行する。
- II. 内外学界交流事業
 1. 日本統計学会第89回大会の開催

2021年9月5日～9日の5日間にわたり、長崎大学文芸キャンパスにおいて開催する。

統計関連学会連合大会の一環として開催する。
 2. 春季集会の開催

2022年3月上旬に第16回春季集会を開催する。
 3. 研究分科会の活動

現在、活動中の以下の分科会に加え、新規に活動を開始する分科会を随時募集する。

 - ・スポーツ統計分科会
 - ・統計教育分科会
 - ・計量経済・計量ファイナンス分科会
 - ・女性統計家・データサイエンティスト育成分科会
 4. 統計関連学会連合の事業推進に協力する。
 5. 国際学会、国際シンポジウムに協力する。
 - ・台湾統計学会、韓国統計学会、日本統計学会共同開催の国際セッションへの協力
 6. 会員に有益と思われる学会やシンポジウムを後援する。
 7. 他の組織が行う費選考に対して学会推薦を行う

III. 会員関係事業

1. 賞の授与

学会活動の活性化促進のため、以下の賞を会員等に授与する。

 - 第26回日本統計学会賞
 - 第17回日本統計学会統計活動賞
 - 第17回日本統計学会統計教育賞
 - 第15回日本統計学会研究業績賞
 - 第14回日本統計学会出版賞
 - 第35回日本統計学会小川研究奨励賞
 - 第1回日本統計学会中村隆英賞
 - 第2回ISI東京大会記念奨励賞
 - 第3回細谷賞
2. 各種委員会の活動
 - 年2回社員総会を開催する。
 - 年4回理事会を開催する。
 - 年1回役員・代議員協議会を開催する。
 - 年1回春季集会準備会議を開催する。

その他の各種委員会を適宜、開催する。
3. 広報活動の充実

メールマガジンの使用やホームページの充実により、各種情報発信を促進する。
4. 入会者の拡大

春季集会等の機会を利用し、若手の研究者の拡大を促進する。

統計検定の合格者を対象とし、統計利用者の拡大を促進する。

IV. 啓発普及事業

1. 「統計検定」の実施協力

日本統計学会は、一般財団法人統計質保証推進協会が実施する「統計検定」の認定団体となり、統計検定に関わる書籍を刊行する。
2. MOOCによる統計学講座の提供

MOOCによる統計学の講座を開講するとともに、講座に関わる書籍を刊行する。
3. 統計教育関連事業の推進

統計教育関連事業の推進
小中高および大学における統計教育に支援・協力するとともに、集会の開催や後援を行う。また統計教育人材育成に貢献する。また統計教育の重要性を発信する

	2年度予算	20年度予算	備考
1.事務局費			
一般行政費	▲3,031	74	基金積立金増減
人件費	29	666	主収入に支出→一般助成増減、基金積立金増減
子会経理員賃金	0	0	
20年度経理員賃金	▲890	▲230	経理員賃金・統計活動費・研究業務費の削減、学芸活動補助
20年度経理員手当	▲230	▲230	20年度経理員手当
SIS基本	▲250	▲250	20年度経理員手当(実額には2013年度使用分)
ICP基金	0	0	SIS基本は2013年度より管理
ICP基金	▲120	▲120	ICP基金は2013年度より管理
小川基金	▲2320	▲2320	小川基金は2014年度より管理化
中村基金	0	0	中村基金は2021年度より管理化
1.事業活動収入			
会費収入	10,656	16,731	
新入会費	9,976	10,957	正会員8,000円/2,000円・1,000円/年、名誉会員1,000円/年
学生会費	298	260	4,000円/年
卒業生会費	42	3	1,300円/年
賛助入会費	845	815	2020年度に1割減
団体入会費	320	320	
学芸活動費補助金	5,888	3,900	国庫補助新年度化費(2019年度から2022年度まで順次削り直し分を含む)
研究費	8,936	988	
資料費	150	150	
広告費	585	685	
その他	100	150	著作権料控除等
経済学会連合会寄付金	0	0	
2.事業活動支出			
印刷費	21,576	16,006	
会誌(51巻/2年)	850	6,000	
英文誌	4,000	3,200	2号分の印刷
会報(187-190号)	2,500	2,500	JASDに関するSpringer Nature社業務委託
名刺印刷費	800	800	
その他	420	400	事務書類に発行
大会等参加費	3,640	1,320	総会と表紙の制作代等
青年学芸会館借賃	1,000	1,000	懇親会開催を認める
若手会館事務所家賃	▲370	▲270	▲270学会会館に入居するが、そのほかのマイナスイメージとして計上
若手会館事務費	350	350	懇親会招待時表彰状制作費(60年度当初会費充当)
小川基金	120	120	小川基金
中村基金	2,320	0	中村基金は基金充当(賞金、懇親会招待、事務運営委託、会費費等)
その他	100	200	移動式会議室基金充当(賞金、懇親会招待補助等)
研究分科会費	410	410	
学芸会館事務所人件費	150	150	食場補助材料を含む
特別委員会費	50	50	
統計教育委員会	20	20	
統計教育委員会	20	20	
統計教育委員会	150	150	
理事費	144	144	カーポート決着の手数料
会費徴収費	40	40	
一般事務人件費	40	40	
校正編集事務所人件費	100	100	
外注事務所人件費	40	40	
事務用品	40	40	
寄金集約委託委託費	2,112	2,112	事務費の交通費、個人印帳等
通信・郵送料	1,907	1,907	中村基金負担およびSIS事務費委託費を概ね
会誌送料	405	405	英文誌の送料分削減し事務費増加分相消
会誌送料	790	790	
名刺送料	12	12	
名刺送料(郵送料)	20	172	
役員協賛活動	125	150	理事会における理事の旅費等
各種分庫費	35	35	
日本経済学会重宝	40	40	
国際統計協会(SI)	23	23	隔数年に支払い
統計教育委員会	40	40	
統計教育委員会	30	30	ドメイン費用料、学会サーバー委託費、Web管理維持費
ネットワーキング費	200	200	
国際交流推進費	0	0	
統計後援印刷費	50	0	
ホームページ更新費用	0	0	
SIS専攻会	250	250	(SI)基金から支出(連絡業務委託費の分)
Ⅲ.事務局収支の部			
収入	3,388	1,660	JASDセッション連携費(招請、海防統計学会派遣等)
支出	0	0	
収支差額	5,000	3,000	支出会社に余剰ない

[illegible]

(注) ISI基金はISI東京大会記念事業基金。

ICP基金はICPセミナー・フォローアップ事業基金。

ICP基金はICPセミナー・フォローアップ事業基金。

席29名、委任状1名)

(4) 書面により議決権を行使した議決権の数 1個

(5) これらの議決権の総数31個

オブザーバーの承認

川崎会長より、社員総会に次の3名が出席する旨説明があり、承認された。

吉田理事(会計)、加藤理事(庶務)、伊藤理事(庶務)

議事録署名人の提案と承認

川崎会長より、議事録署名人として岩崎学代議員、栗木哲代議員に依頼する旨の説明があり、承認された。

審議事項

第1議案 学会賞各賞の選考委員に関する件

川崎会長より、各賞の規定に基づく会長が推薦する選考委員として、會田雅人会員および中野純司会員が推薦され、審議の結果、承認された。

報告事項(理事会報告)

1. 2021年度事業計画(資料1)

山下理事長より、資料に基づき2021年度事業計画について説明があり、出版編集事業・内外学界交流事業・会員関係事業・啓発普及事業に関する計画が紹介された。

2. 2021年度予算(資料2)

吉田会計理事より、資料に基づき、2021年度予算について報告がなされた。

3. 第15回春季集会について

山下理事長より、2021年3月13日(土)にオンライン開催される第15回春季集会の開催について説明がなされた。

4. 会員の入退会

山下理事長より、回収資料に基づき、会員の入退会について報告された。

報告事項(委員会報告)

1. 常設委員会における委員長・委員の交代・再任について

山下理事長より、資料に基づき、常設委員会の委員長・委員の交代・再任について報告がなされた。

2. 2021年度統計関連学会連合大会について

山下理事長より、2021年9月5日(日)～9日(木)に、2021年度統計関連学会連合大会が長崎大学文教キャンパスにおいて開催される旨が報告された。

3. 日本統計学会各賞について

山下理事長より、日本統計学会各賞の募集期間が2020年12月7日(月)～2021年3月26日(金)であることが説明された。

報告事項(その他)

1. 準会員制度のあり方について

川崎能典学会組織特別委員会委員長より、資料に基づき、準会員制度のあり方についての検討結果が報告された。学会組織特別委員会における検討の結果、準会員制度は現状のままに置くのが適切と思われる、来る定期社員総会での定款の書き換え等はその必要を認めないとの結論が説明された。

2. 統計教育委員会 2020年度活動報告

竹内統計教育委員会委員長より、2020年度における統計教育委員会の活動報告がなされた。具体的な活動内容として、統計教育委員会サイトへの教材の公開、新学習指導要領に対応した文部科学省の資料および総務省統計研究研修所の資料の紹介、委員会としての意見募集、理数系学会教育問題連絡会への参加などが報告された。

3. 次回日程等

次回社員総会が2021年5月下旬から6月上旬に開催予定であることが案内された。

8. 被選代議員会報告

日時：2021年3月12日(金) 午後7時30分～午後8時22分

場所：Zoom(ミーティングID：973 2707 6656)

出席者：川崎 茂(会長)

被選代議員：會田雅人、青嶋 誠、足立浩平、岩崎 学、大草孝介、大森裕浩、鎌倉稔成、川崎 茂、川崎能典、国友直人、栗木 哲、栗原考次、西郷 浩、酒折文武、

坂本 亘、瀬尾 隆、竹内光悦、竹村彰通、谷崎久志、椿 広計、富田 誠、中野純司、西山慶彦、樋口知之、廣瀬 慧、前園宜彦、増田弘毅、松井知子、南美穂子、宿久 洋、山下智志、美添泰人、渡辺美智子

(以上、33名)

選挙管理委員：加藤昇吾、伊藤伸介(庶務理事)

冒頭、川崎会長より被選代議員の出席者および選挙管理委員の確認後、開会宣言がなされた。また、川崎会長より議事録署名人として岩崎学、栗木哲、両被選代議員が提案され、承認された。

審議事項

第1議案 会長候補者の選出に関する件—会長選挙規程第3条

川崎会長より、資料に基づき、被選代議員会による会長候補者選出方法（会長選挙規程第3条より抜粋）および歴代会長について説明された後、提出された会長候補者推薦理由書が提示された。投票の結果、樋口知之氏を会長候補として選出することに決定した。

第2議案 被選理事長の選出に関する件—役員選任規程第2条

川崎会長より、資料に基づき、被選代議員会による被選理事長の選出方法について（役員選任規程第2条より抜粋）説明があり、被選代議員名簿が提示された。投票の結果、大森裕浩被選代議員を被選理事長とすることに決定した。

報告事項

1. 次回日程等

川崎会長より、役員・代議員協議会は2021年9月に開催される予定であることの報告があった。

9. 博士論文・修士論文の紹介

最近の博士論文・修士論文を原稿到着順に紹介いたします。(1) 氏名 (2) 学位の名称 (3) 取得大学 (4) 論文題名 (5) 主査または指導教員 (6) 取得年月の順に記載いたします。

博士論文

- (1) 藤澤健吾 (2) 博士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Modeling of asymmetry for square contingency tables with ordinal categories (5) 田畑耕治 (6) 2021年3月
- (1) 山内雄太 (2) 経済学博士 (3) 東京大学 (4) Realized stochastic volatility models and their applications (5) 大森裕浩 (6) 2021年3月
- (1) 芦川敏洋 (2) 博士 (経営情報学) (3) 静岡県立大学 (4) 地域経済の成長可能性 (都道府県別・資本ストックと潜在GDPの推計を踏まえた実証分析) (5) 東野定律 (6) 2021年3月

修士論文

- (1) 佐々木拓真 (2) 修士 (理学) (3) 筑波大学 (4) Estimation of cross covariance matrices in high-dimensional settings (5) 青嶋誠 (6) 2021年3月
- (1) 館野弘樹 (2) 修士 (理学) (3) 筑波大学

(4) 高次元データに対する主成分分析 (5) 青嶋誠 (6) 2021年3月

- (1) 白濱諒洋 (2) 修士 (数理学) (3) 九州大学 (4) 一般化推定方程式の正則条件について (5) 増田弘毅 (6) 2021年2月
- (1) 田嶋颯人 (2) 修士 (数理学) (3) 九州大学 (4) 線形混合 integrated OU モデルの漸近推測と情報量規準 (5) 増田弘毅 (6) 2021年2月
- (1) 藤永雄基 (2) 修士 (数理学) (3) 九州大学 (4) 位置尺度混合効果モデルの漸近推測 (5) 増田弘毅 (6) 2021年2月
- (1) Cheng Yuzhong (2) 修士 (数理学) (3) 九州大学 (4) Gaussian quasi-likelihood estimation of the square-root diffusion from high-frequency data (5) 増田弘毅 (6) 2021年2月
- (1) 沖永悠一 (2) 修士 (数理学) (3) 九州大学 (4) バリマックスの一般化による因子分析のスパース推定とその信頼区間 (5) 廣瀬慧 (6) 2021年2月
- (1) 三浦完太 (2) 修士 (数理学) (3) 九州大学 (4) 判別分析における精度向上のためのクラスタリングとクロスバリデーションの高速化 (5) 廣瀬慧 (6) 2021年2月
- (1) 伊藤和輝 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科

大学 (4) On the asymptotic approximation of EPMC for linear discriminant function with two-step monotone missing data (5) 富澤貞男 (6) 2021年3月

● (1) 大野智裕 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Decomposition of symmetry model by using conditional difference asymmetry model for square contingency tables (5) 富澤貞男 (6) 2021年3月

● (1) 長 光司 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Measures of departure from marginal inhomogeneity for square contingency tables with nominal categories (5) 富澤貞男 (6) 2021年3月

● (1) 塚田将行 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) A geometric mean type measure of departure from quasi-symmetry for square contingency tables (5) 富澤貞男 (6) 2021年3月

● (1) 難波怜雅 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Improved approximate unbiased estimators of measure for departure from partial symmetry for square contingency tables (5) 富澤貞男 (6) 2021年3月

● (1) 福本伸樹 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Measure of departure from conditional partial symmetry for square contingency tables (5) 富澤貞男 (6) 2021年3月

● (1) 満留大樹 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Improving a measure of departure from symmetry and its approximate confidence interval for square contingency tables (5) 富澤貞男 (6) 2021年3月

● (1) 桃崎智隆 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Two-dimensional measure of departure from some symmetry and asymmetry for square contingency tables with nominal categories (5) 富澤貞男 (6) 2021年3月

● (1) 矢野大貴 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Geometric mean type measure of departure from partial symmetry for square contingency tables having ordered categories (5) 富澤貞男 (6) 2021

年3月

● (1) 荒井智彦 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Testing the symmetry of 2×2 contingency tables with missing data by parameter-identifiable graphical models (5) 田畑耕治 (6) 2021年3月

● (1) 白井駿弥 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Sparse estimation for high-dimensional contingency tables using penalized weighted score function (5) 田畑耕治 (6) 2021年3月

● (1) 須藤穂高 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Implementation of various symmetry in R for square contingency tables (5) 田畑耕治 (6) 2021年3月

● (1) 松田康平 (2) 修士 (理学) (3) 東京理科大学 (4) Diagonals-parameter symmetry model based on f-divergence and its property for square contingency tables (5) 田畑耕治 (6) 2021年3月

● (1) 高杉遼太郎 (2) 経済学修士 (3) 東京大学 (4) Noninformative prior distributions for covariance matrices (5) 大森裕浩 (6) 2021年3月

● (1) 秋山浩希 (2) 修士 (データサイエンス) (3) 滋賀大学 (4) 連続晶析における粒度分布遷移過程の状態空間モデルによる分析 (5) 河本薫 (6) 2021年3月

● (1) 江口嘉成 (2) 修士 (データサイエンス) (3) 滋賀大学 (4) 分散表現獲得手法による類似文章の推薦 —社内用語に対応するモデルの探索— (5) 市川治 (6) 2021年3月

● (1) 川上幹男 (2) 修士 (データサイエンス) (3) 滋賀大学 (4) コロナ禍におけるEBPMに資する倒産・失業関連指標の予測速報モデル (5) 梅津高朗 (6) 2021年3月

● (1) 小西伶児 (2) 修士 (データサイエンス) (3) 滋賀大学 (4) マーケティング・リサーチにおける統計的因果探索を用いた因果仮説構築に関する研究 (5) 清水昌平 (6) 2021年3月

● (1) 坂口雅哉 (2) 修士 (データサイエンス) (3) 滋賀大学 (4) 機械学習を用いた調査票データベースにおける質問内容分類 (5) 笛田薫 (6) 2021年3月

● (1) 渋谷雄平 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) テレマティクスデータを用いた自動車事故リスク評価に関する考察 (5) 笛田薫 (6) 2021年 3 月

● (1) 杉山聖貴 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 転移学習を用いた利用者の少ない金融サービスに対する顧客予測分析 (5) 松井秀俊 (6) 2021年 3 月

● (1) 高山和明 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) コールセンターの応対音声品質の自動評価に向けた要素技術の研究 (5) 市川治 (6) 2021年 3 月

● (1) 田川健太郎 (2) 修士 (データサイエンス) (3) 滋賀大学 (4) 関係の離脱を考慮した多項関係解析と金融商品購買予測への応用 (5) 周曉康 (6) 2021年 3 月

● (1) 辻和真 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 預金口座情報を用いた企業デフォルト予測の実証分析 (5) 田中琢真 (6) 2021年 3 月

● (1) 辻孝辰 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 不均衡データに対する機械学習手法と税関不正検知への応用 (5) 松井秀俊 (6) 2021年 3 月

● (1) 西野優 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 南海トラフ巨大地震における生活廃棄物の広域処理についての考察 (5) 和泉志津恵 (6) 2021年 3 月

● (1) 百瀬耕平 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 量的・質的金融緩和政策期における、上場企業の有形および無形資産投資に関するパネルデータ分析 (5) 笛田薫 (6) 2021年 3 月

● (1) 安江直芳 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 生存解析と機械学習手法を用いた企業の隠れ状態の推定 (5) 杉本知之 (6) 2021年 3 月

● (1) 山崎健一 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) プラント非定常運転時の異常

検知手法の研究 (5) 姫野哲人 (6) 2021年 3 月

● (1) 山野真奈 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 廃棄物処理施設における監視映像を対象とした異常検知 (5) 佐藤智和 (6) 2021年 3 月

● (1) 横内淳史 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 新型コロナウイルス感染症に関する考察 (5) 姫野哲人 (6) 2021年 3 月

● (1) 横溝秀始 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 公的統計マイクロデータの利活用の促進に向けた統計的開示抑制の検討—事業所・企業の匿名化マイクロデータの作成に資する基礎研究— (5) 竹村彰通 (6) 2021年 3 月

● (1) 吉村鴻紀 (2) 修士 (データサイエンス)
(3) 滋賀大学 (4) 企業信用調査のテキストマイニングによる特定業界の判別 (5) 岩山幸治 (6) 2021年 3 月

● (1) 楊 仲 栩 (YANG ZHONGXU) (2) 修士 (経済学) (3) 青山学院大学 (4) 中国の先端技術企業における R&D 投入費と販売費が企業の業績に与える影響についての分析 (5) 元山 齊 (6) 2021年 3 月

● (1) 長野弘晃 (2) 修士 (数理科学) (3) 南山大学 (4) 多群モデルにおける平均と分散の同時相違を検出するための多重比較検定法 (5) 白石高章 (6) 2021年 2 月

● (1) 田辺佑太 (2) 修士 (情報学) (3) 静岡大学 (4) 非線形構造を有する階層データのための分位点回帰モデリング (5) 荒木由布子 (6) 2021年 3 月

● (1) 大賀晃弘 (2) 修士 (数理科学) (3) 東京大学 (4) Drift estimation for a multi-dimensional diffusion process using Deep Neural Networks (5) 小池祐太 (6) 2021年 3 月

● (1) 勝屋大輔 (2) 修士 (数理科学) (3) 東京大学 (4) Scaled Lasso estimation of sparse precision matrices in a general setting (5) 小池 祐太 (6) 2021年 3 月

10. 新刊紹介

会員からの投稿による新刊図書の紹介記事を掲載します。

● Nan Zhang (張南) 『Flow of Funds Analysis: Innovation and Development』 (DOI <https://doi.org/10.1007/978-981-15-7720-8>) Springer, 2020年10月, 冊子体: 124.79ユーロ

内容紹介: 資金循環分析の手法と応用, 金融リスクと対外資金循環, 国際資金循環分析の展開という三つの視点から書かれた英文モノグラフで, 経済統計, 金融勘定, 及び国際資金循環に関するデータの作り方と体系関係を紹介し, これらの経済統計を用いて計量モデルの構築及び金融ネットワーク分析の手法を論述する。

11. JSS Research Series in Statistics からの新刊情報

日本統計学会編の書籍シリーズ JSS Research Series in Statistics からの新刊情報を掲載します。

● 星野伸明／間野修平／志村隆彰 『Pioneering Works on Distribution Theory: In Honor of Masaaki Sibuya』 Springer, 2021年1月, 冊子体: 51.99ユーロ

内容紹介: 分布論の新しい結果を含む査読付き論文集. 自然数の分割の束構造を利用した Ewens 分布の検定, 同分布の長さの離散と連続の漸近分布, ある種の連の数え上げ, 対称なランダム行列, 指数族の母数推定などを扱う。

12. 学会事務局から

学会費払込のお願い

2021年度会費の請求書が会員のお手元に届いていると思います。会費の納入率が下がると学会会計に大きく影響いたします。速やかな納入にご協力をお願い申し上げます。便利な会費自動払込制度もご用意しています。次の要領を参照の上、こちらもご活用下さい。また、クレジットカードでの学会費払込も受け付けております。お申込みは学会ホームページよりお願いいたします。
(<https://www.jss.gr.jp/fee/>)。

学会費自動払込の問合せ先

学会費自動払込問合せの旨とともに、氏名と住所を以下にお伝えください。手続きに必要な書類が送付されます。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6

能楽書林ビル5F

公益財団法人統計情報研究開発センター内
日本統計学会担当

Tel & Fax : 03-3234-7738

E-mail : shom@jss.gr.jp

訃報

次の方が逝去されました。謹んで追悼の意を表し、御冥福をお祈り申し上げます。

大橋 靖雄	会員
加藤 剛	会員
佐藤 義治	会員

入会承認

石原敬士, 石原卓弥, 大島悠, 田口千恵, 田中未来, 肥後雅博, 方雪敏, 藤田英治, 松原和樹, 山内康弘, 山室考司, 渡邊優太郎

(敬称略)

退会承認

居林晴久, 風間喜美江, 川口康平, 小谷野仁, 白澤英樹, 鈴木麻美, 竹内維斗文, 富岡俊司, 中居陸運, 長瀬真利雄, 野澤亮平, 羽場智哉, 若松宣一

(敬称略)

現在の会員数 (2021年3月12日)

名誉会員	16名
正会員	1,393名
準会員	6名
学生会員	71名
総計	1,486名
賛助会員	16法人
団体会員	8団体

13. 投稿のお願い

統計学の発展に資するもの, 会員に有益であると考えられるものなどについて原稿をお送りください。以下のような情報も歓迎いたします。

●来日統計学者の紹介

訪問者の略歴, 滞在期間, 滞在先, 世話人などをお知らせください。

●博士論文・修士論文の紹介

(1) 氏名 (2) 学位の名称 (3) 取得大学 (4) 論文題名 (5) 主査または指導教員 (6) 取得年月をお知らせください。

●求人案内 (教員公募など)

●研究集会案内

●新刊紹介

著者名, 書名, 出版社, 税込価格, 出版年月をお知らせください。紹介文を付ける場合は100字程度までとし, 主観的な表現は避けてください。

●会員活動紹介 (叙勲・受章, 各種受賞等)

できるだけ e-mail による投稿, もしくは, 文書ファイル (テキスト形式) の送付をお願い致します。

原稿送付先:

〒153-8914 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院数理科学研究科

小池 祐太 宛

E-mail: koho@jss.gr.jp

(統計学会広報連絡用 e-mail アドレス)

- 統計学会ホームページ URL :
<https://www.jss.gr.jp/>
- 統計関連学会ホームページ URL :
<http://www.jfssa.jp/>
- 統計検定ホームページ URL :
<http://www.toukei-kentei.jp/>
- 住所変更連絡用 e-mail アドレス :
meibo@jss.gr.jp
- 広報連絡用 e-mail アドレス :
koho@jss.gr.jp
- その他連絡用 e-mail アドレス :
shom@jss.gr.jp